データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和 6 年 03 月 26 日

全国硝子業健康保険組合

STEP１-１ 基本情報

組合コード	24952
組合名称	全国硝子業健康保険組合
形態	総合
業種	化学工業・同類似業

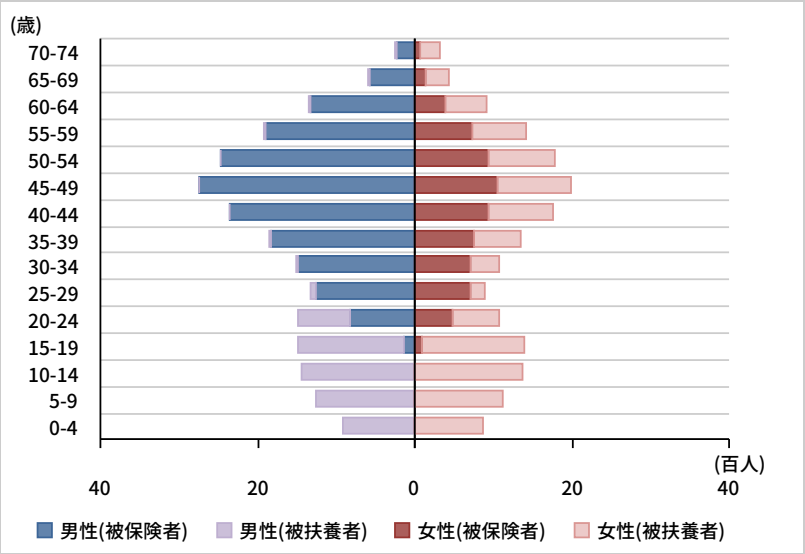
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は特例退職被保険者を除く	24,085名 男性71.1% （平均年齢45.7歳）* 女性28.9% （平均年齢43.1歳）*	-名 男性-% （平均年齢-歳）* 女性-% （平均年齢-歳）*	-名 男性-% （平均年齢-歳）* 女性-% （平均年齢-歳）*
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	40,703名	-名	-名
適用事業所数	422ヵ所	-ヵ所	-ヵ所
対象となる拠点数	422ヵ所	-ヵ所	-ヵ所
保険料率 *調整を含む	98‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	1	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 （令和4年度の実績値）
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷特定健康診査対象者数)	全体	15,269 ／ 19,441 ＝ 78.5 %
	被保険者	13,787 ／ 15,121 ＝ 91.2 %
	被扶養者	1,482 ／ 4,320 ＝ 34.3 %
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷特定保健指導対象者数)	全体	437 ／ 3,184 ＝ 13.7 %
	被保険者	427 ／ 3,067 ＝ 13.9 %
	被扶養者	10 ／ 117 ＝ 8.5 %

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人当たり金額（円）	予算額(千円)	被保険者一人当たり金額（円）	予算額(千円)	被保険者一人当たり金額（円）
保健事業費	特定健康診査事業費	8,182	340	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	15,316	636	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	28,239	1,172	-	-	-	-
	疾病予防費	422,121	17,526	-	-	-	-
	体育奨励費	3,600	149	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	63,442	2,634	-	-	-	-
	小計　…a	540,900	22,458	0	-	0	-
	経常支出合計　…b	13,003,825	539,914	-	-	-	-
	a/b×100　(%)	4.16		-		-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み

令和8年度見込み

男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	130人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	820人	25～29	1,261人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	1,483人	35～39	1,839人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	2,352人	45～49	2,748人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	2,478人	55～59	1,897人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1,326人	65～69	565人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	236人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	83人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	474人	25～29	700人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	702人	35～39	759人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	927人	45～49	1,055人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	947人	55～59	724人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	385人	65～69	132人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	62人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	903人	5～9	1,246人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	1,429人	15～19	1,349人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	668人	25～29	70人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	26人	35～39	16人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	11人	45～49	10人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	7人	55～59	14人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	22人	65～69	21人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	29人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	877人	5～9	1,118人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	1,378人	15～19	1,309人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	597人	25～29	179人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	361人	35～39	604人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	816人	45～49	935人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	854人	55～59	694人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	527人	65～69	304人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	244人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴	1.加入者40,703人（被保険者24,085人、被扶養者16,618人）の中規模の健保組合である。 2.扶養率は0.69%である。 3.40歳以上の加入者は、20,323人（被保険者15,835人、被扶養者4,488人）である。 4.事業所の拠点が全国にあり、加入者も点在している。 5.当健保組合には、常勤の医療専門職が不在である。

STEP１-２ 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴
１．特定健診及び特定保健指導の受診率・利用率はここ数年横ばいの状態。特に被扶養者については受診率が向上していない。
２．参加率・利用率にばらつきがある。⇒実施する保健事業の内容を精査し加入者の声を反映させた事業に見直す。
３．事業の内容が加入者に伝わっていない。⇒広報宣伝は被保険者はもとより家族（被扶養者）までしっかり伝わるような工夫を検討する。
４．参加者が固定されている。

事業の一覧

職場環境の整備	
保健指導宣伝	健保委員事務講習会
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	機関誌発行
保健指導宣伝	ホームページ
保健指導宣伝	個人向けポータルサイトの運営
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	共同保健事業
保健指導宣伝	メンタルヘルスカウンセリング
保健指導宣伝	健康相談
保健指導宣伝	後発医薬品の差額通知
保健指導宣伝	出産記念品・パンフレット・小冊子の配布
保健指導宣伝	前期高齢者向け電話保健指導
疾病予防	若年者健診
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	女性生活習慣病健診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
体育奨励	施設利用法人契約
その他	健保会館「両国健康センター」
予算措置なし	家庭常備薬の斡旋
事業主の取組	
1	定期健康診断

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
保健指導宣伝	5,8	健保委員事務講習会	円滑な事業運営の促進	一部の事業所	男女	16～74	被保険者	1,080	【実施時期】4月 【実施状況】平均50から60名の参加 ※コロナ禍においては会場での開催は行わず、資料送付による対応となった。	法改正等があった年は参加者が多い。	会場での開催となると遠方の事業所は参加が困難である。	4
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	2,8	医療費通知	加入者に自身の医療費の実情や健康に対する認識を深めてもらう	全て	男女	0～74	加入者全員	2,000	【実施時期】2月 【実施状況】強制被保険者は事業所経由、任意継続被保険者は自宅へ送付	加入者が健保負担額も認識し、総医療費についても意識してもらえるようになる。	確定申告のために利用する意識の方が強く、適正な受診につながるよう通知の目的を伝える。	4
	2,8	機関誌発行	健康保険組合の事業内容及び健康管理に対する情報や知識を広く周知し、円滑な事業運営を図る	全て	男女	16～74	加入者全員	4,800	【実施時期】年2回（4月・10月）発行。 【実施状況】令和5年度　約22,000部発行／回	ホームページにも掲載することにより、広報することができている。	被保険者が自宅に持ち帰らず、被扶養者に対し保健事業が伝わらないケースがある。	4
	2,8	ホームページ	健康保険組合の事業内容及び健康管理に対する情報や知識を広く周知し、円滑な事業運営を図る	全て	男女	0～74	加入者全員	2,000	【実施時期】常時 【実施状況】法改正や事業の変更の際に随時更新。	スマートフォンにも対応し、より身近なコンテンツとして提供。	加入者及び事業所担当者専用のサイトを用意していないため、加入者専用のコンテンツに部外者がアクセスできてしまう。	3
	2,8	個人向けポータルサイトの運営	個人向けポータルサイトを通じてヘルスリテラシーの向上を図る	全て	男女	16～74	被保険者,基準該当者	6,000	【実施時期】常時 【実施状況】利用登録者数344人	ヘルスリテラシーの向上を図ることができる。 インセンティブ事業として利用することができる。	広報が十分でなく認知度が低い。	1
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健診	受診率の向上及び加入者の健康維持	全て	男女	40～74	被扶養者,任意継続者	8,238	【実施時期】5月から3月 【実施状況】受診率34.3%	集合健診受診券を直接自宅に送付する。	パート先で受診した被扶養者の健診結果の提供がなされない。	1
特定保健指導事業	1,4	特定保健指導	実施率の向上及び加入者の健康維持	全て	男女	40～74	基準該当者	13,408	【実施時期】4月から3月 【実施状況】実施率　積極的支援レベル12.8%　動機付け支援15.4%	オンライン面談メニューの活用により、利用者の利便性が向上した。	事業所の協力がないと利用率の向上は望めない。	1
保健指導宣伝	2,8	共同保健事業	健保組合単独で行うことのできない事業の実施	全て	男女	6～74	加入者全員	0	【実施時期】年4回（5月から6月・10月・2月から3月） 【実施状況】参加者 約200人	地理的要因や参加者数から単独ではできない事業に参加できる。	認知度が低い	2
	6	メンタルヘルスカウンセリング	精神障害の発症予防	全て	男女	0～74	加入者全員	1,194	【実施時期】常時 【実施状況】利用件数　41件／年	精神障害の増加に伴い、相談件数も増えている。 常時相談できるメリットがある。	認知度が低い。	1
	6	健康相談	加入者の心と体の健康に対する不安の解消	全て	男女	0～74	加入者全員	2,076	【実施時期】常時 【実施状況】利用件数　190件／年	常時相談できるメリットがある。	認知度が低い。	2

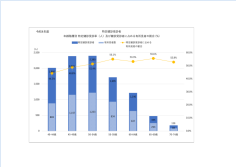
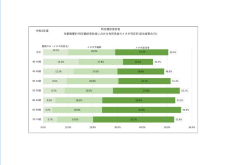
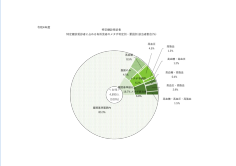
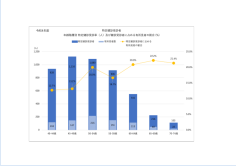
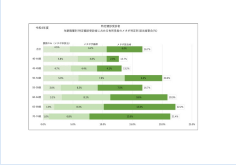
予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	7	後発医薬品の差額通知	ジェネリック医薬品の利用促進を図り、薬剤療養費を抑制する	全て	男女	15～74	基準該当者	3,000	【実施時期】2月・９月 【実施状況】通知件数　4,163件	差額を通知することで、後発医薬品の認知度が高まった。	後発医薬品に対する不安を解消するため広報が必要。	3
	2,8	出産記念品・パンフレット・小冊子の配布	健康情報の発信や保険制度の周知	全て	男女	0～74	基準該当者	3,130	【実施時期】出産記念品は随時　パンフレットは年4回（3月・6月・9月・12月） 【実施状況】出産記念品 175件　パンフレット約 400部／回	子育ての不安の解消や季節に応じた健康情報の提供に役立っている。	出産記念品の申込が減少している。	5
	2,4,5,6,7	前期高齢者向け電話保健指導	前期高齢者の将来の医療費抑制	全て	男女	60～64	基準該当者	3,000	【実施時期】5月から3月 【実施状況】実施者数　約350人	対象者の健診の受診の促進や生活習慣を改善する取組へのきっかけとなっている。	対象者とコンタクトをとるのが難しい。	1
疾病予防	3	若年者健診	疾病の早期発見と予防	全て	男女	16～29	被保険者	4,217	【実施時期】4月から3月 【実施状況】受診者数 1,131人	バス健診や東振協契約健診機関を利用することで、短時間で受診できるようにしている。	特になし。	3
	3	生活習慣病健診	疾病の早期発見と予防	全て	男女	30～74	加入者全員	194,110	【実施時期】4月から3月 【実施状況】受診者数 14,181人	バス健診の実施や契約健診機関以外での受診の際は補助金を支給し、事業所のニーズに対応している。	特になし。	4
	3	女性生活習慣病健診	疾病の早期発見と予防	全て	女性	30～74	加入者全員	34,655	【実施時期】4月から3月 【実施状況】受診者数 1,873人	契約健診機関や補助金に加え、会場集合健診を実施し、受診の機会を多く提供している。	特になし。	3
	3	人間ドック	疾病の早期発見と予防	全て	男女	35～74	被保険者	139,808	【実施時期】4月から3月 【実施状況】受診者数 5,119人	契約健診以外での受診の際は補助金を支給し、事業所のニーズに対応している。	特になし。	3
	8	インフルエンザ予防接種補助	インフルエンザの重症化を防ぎ、医療費を抑制	全て	男女	0～74	加入者全員	12,500	【実施時期】10月から3月 【実施状況】接種者数 9,304人	利便性を高めるため、東振協による事業所への出張接種も実施。	領収書などの証拠書類の不備が多く発生している。	4
体育奨励	5,8	施設利用法人契約	加入員の心身のリフレッシュと健康増進	全て	男女	0～74	加入者全員	3,600	【実施時期】4月から3月 【実施状況】利用者数 約13,000人	利用者も増加し、心身のリフレッシュに役立っている。	認知度が低い。	3
その他	8	健保会館「両国健康センター」	健保組合事務所及び会議室・健康セミナー会場として利用 一部テナントによる利用	全て	男女	0～（上限なし）	加入者全員	65,826	【実施時期】4月から3月	理事会及び組合会、入社式等での利用もあり、役立っている。 テナントとの賃貸契約により、家賃収益がある。	内装や什器などの老朽化が目立つ。	3
予算措置なし	2,8	家庭常備薬の斡旋	OTCの促進及び軽度疾患の初期治療と健康維持	全て	男女	0～74	加入者全員	0	【実施時期】4月から6月・10月から12月 【実施状況】斡旋総額 約3,000千円	特納品など低価格で斡旋することができた。 初期治療にも役立っている。	ドラッグストアの普及により、利用数が減っている。 機関誌に封入しているため、機関誌を自宅に持ち帰らないと家族の手元に届けることができないことがある。	2

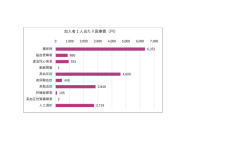
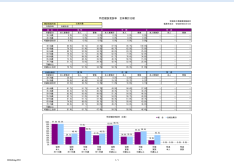
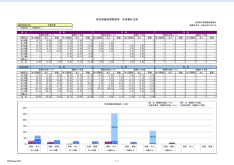
注１）１．職場環境の整備　２．加入者への意識づけ　３．健康診査　４．保健指導・受診勧奨　５．健康教育　６．健康相談　７．後発医薬品の使用促進　８．その他の事業
注２）１．39%以下　２．40%以上　３．60%以上　４．80%以上　５．100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断	安衛法に基づく健診	被保険者	男女	16～（上限なし）	安衛法に定められた健診の実施。	安衛法で定められているため。	少人数の事業所は実施率が低い。 事業主の理解度に差がある。	無

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

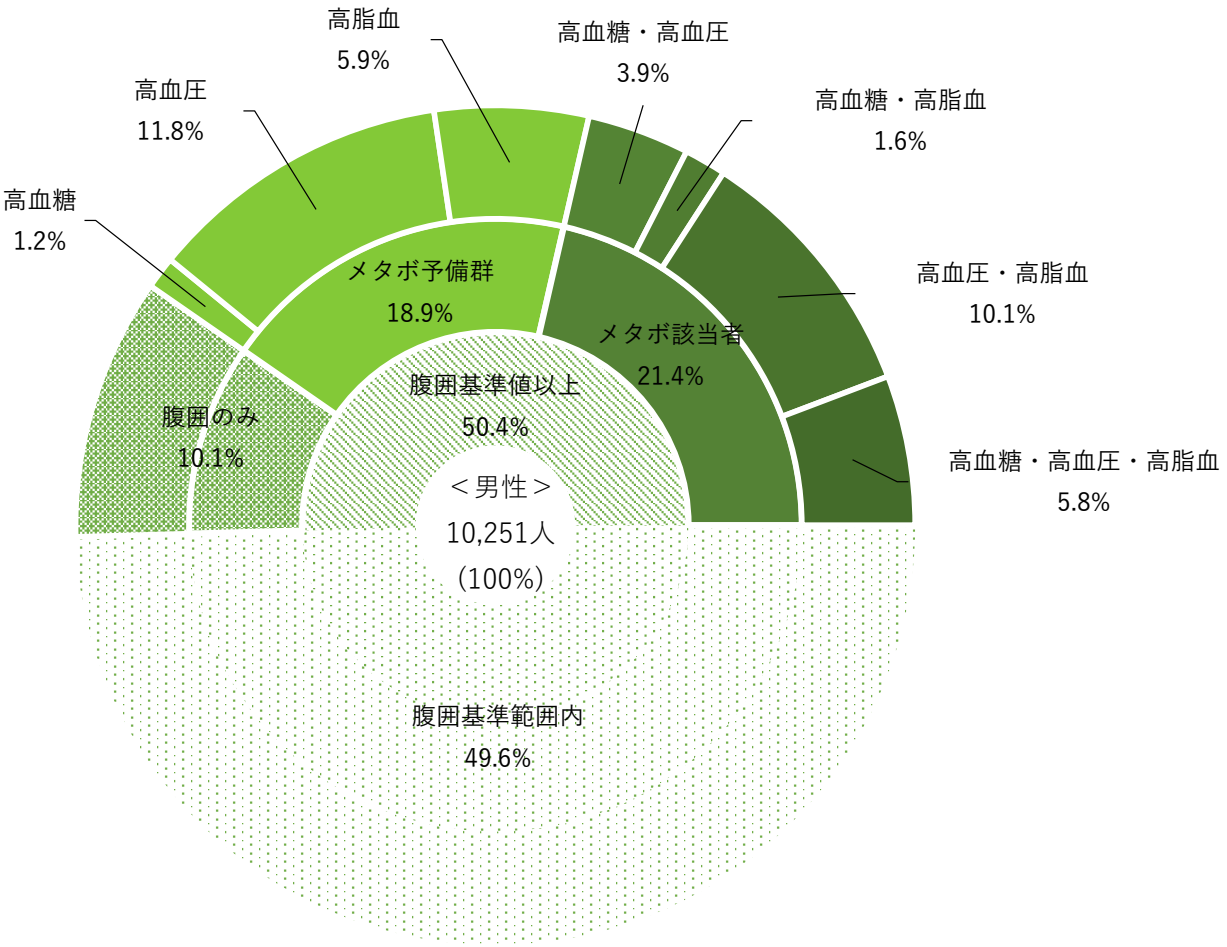
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		【男性】　特定健診受診者に占める有所見者のメタボ判定別・要因別 該当者割合（%）	特定健診分析	-
イ		【男性】　年齢階層別　特定健診受診率（人）及び健診受診者に占める有所見者の割合（%）	特定健診分析	-
ウ		【男性】　年齢階層別　特定健診受診者に占める有所見者のメタボ判定別 該当者割合（%）	特定健診分析	-
エ		【女性】　特定健診受診者に占める有所見者のメタボ判定別・要因別 該当者割合（%）	特定健診分析	-
オ		【女性】　年齢階層別　特定健診受診率（人）及び健診受診者に占める有所見者の割合（%）	特定健診分析	-
カ		【女性】　年齢階層別　特定健診受診者に占める有所見者のメタボ判定別 該当者割合（%）	特定健診分析	-

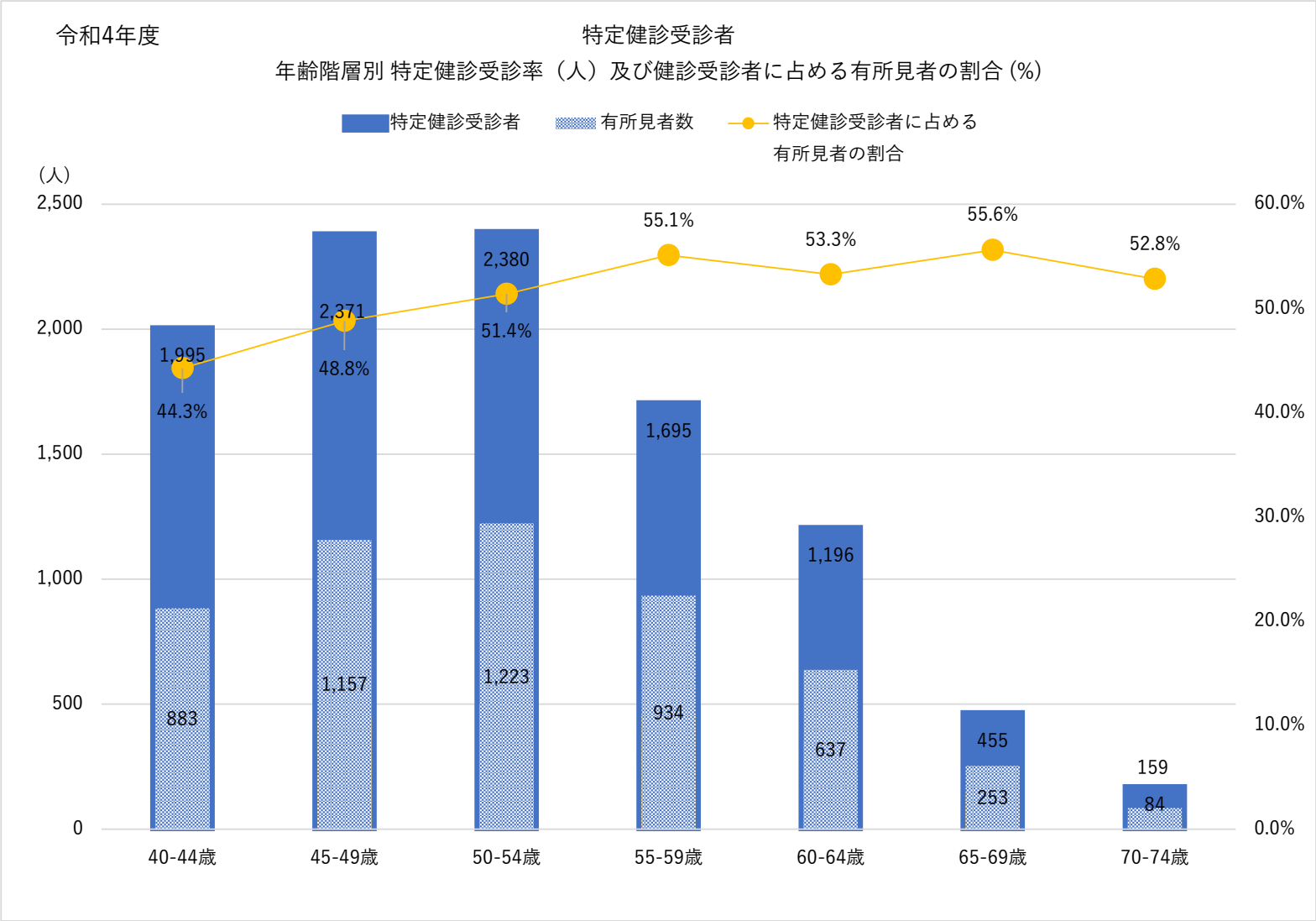
キ		生活習慣関連疾患別　医療費	医療費・患者数分析	-
ク		生活習慣関連疾患別　医療費	医療費・患者数分析	-
ケ		加入者一人当たり医療費	医療費・患者数分析	-
コ		受診者一人当たり医療費	医療費・患者数分析	-
サ		特定保健指導受診率　全体集計比較	特定健診分析	-
シ		特定保健指導実施率　全体集計比較	特定保健指導分析	-

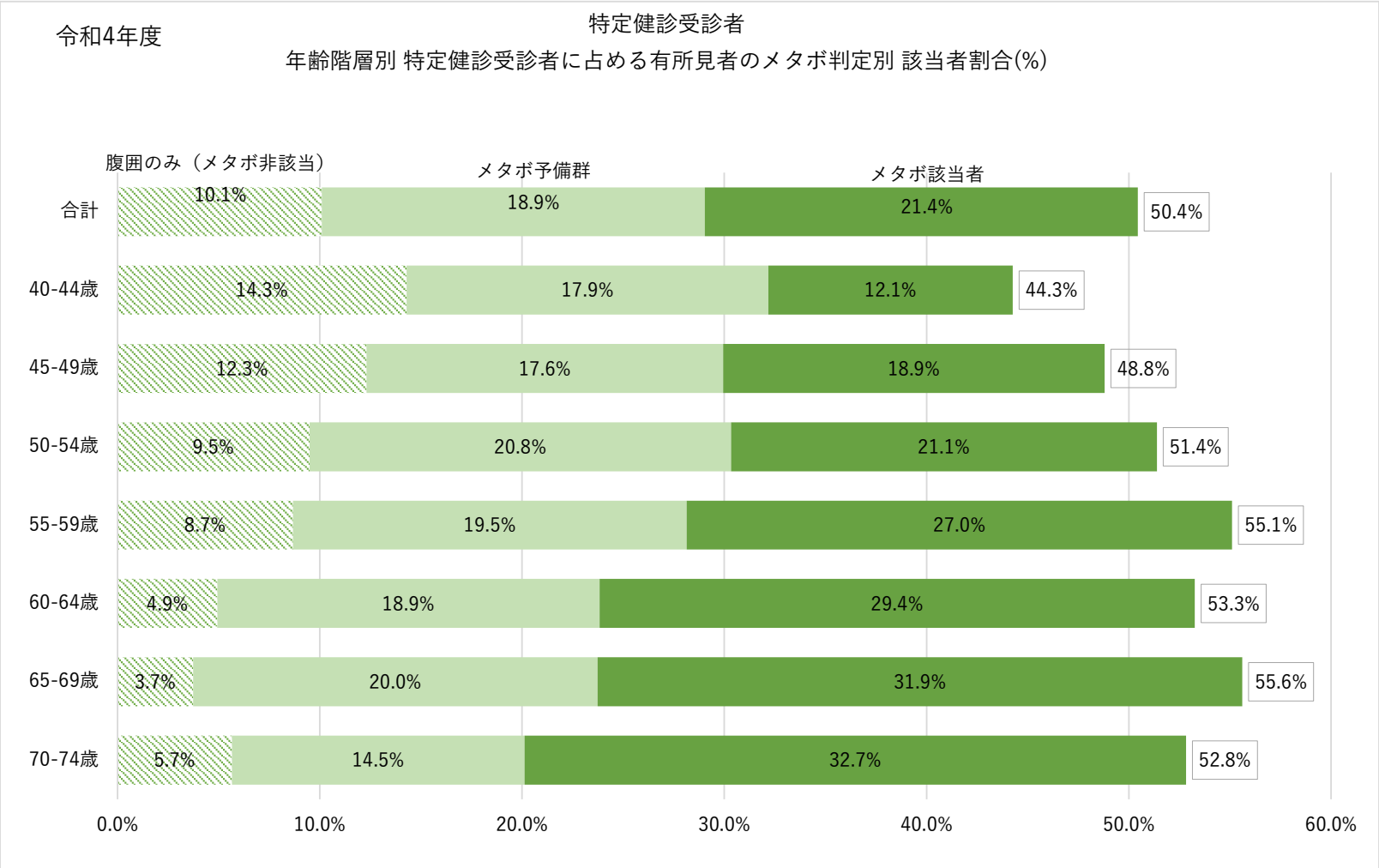
令和4年度

特定健診受診者

特定健診受診者に占める有所見者のメタボ判定別・要因別 該当者割合(%)



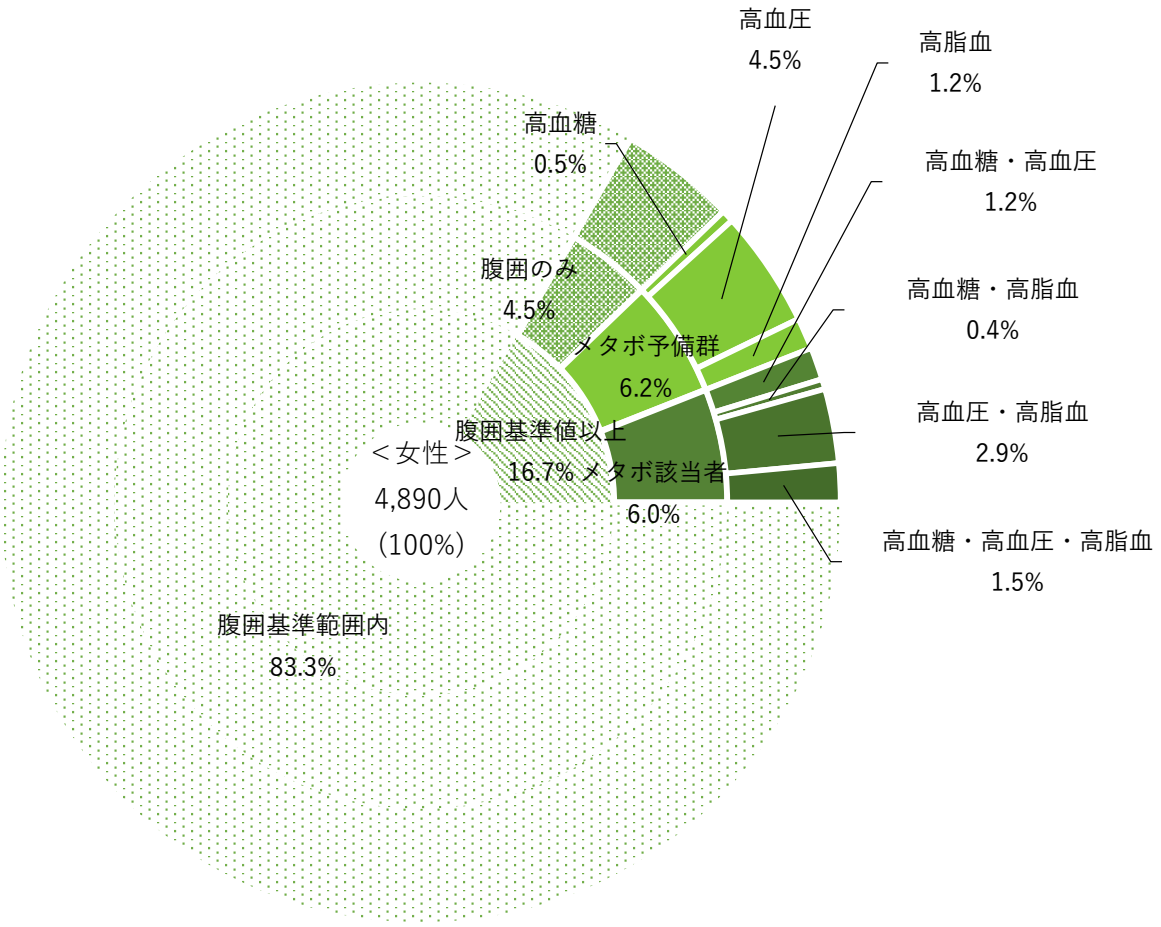

令和4年度
特定健診受診者
年齢階層別 特定健診受診率（人）及び健診受診者に占める有所見者の割合 (%)
特定健診受診者
有所見者数
特定健診受診者に占める有所見者の割合
（人）
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
60.0%
50.0%
40.0%
30.0%
20.0%
10.0%
0.0%
1,995
883
44.3%
2,371
1,157
48.8%
2,380
1,223
51.4%
1,695
934
55.1%
1,196
637
53.3%
455
253
55.6%
159
84
52.8%
40-44歳
45-49歳
50-54歳
55-59歳
60-64歳
65-69歳
70-74歳

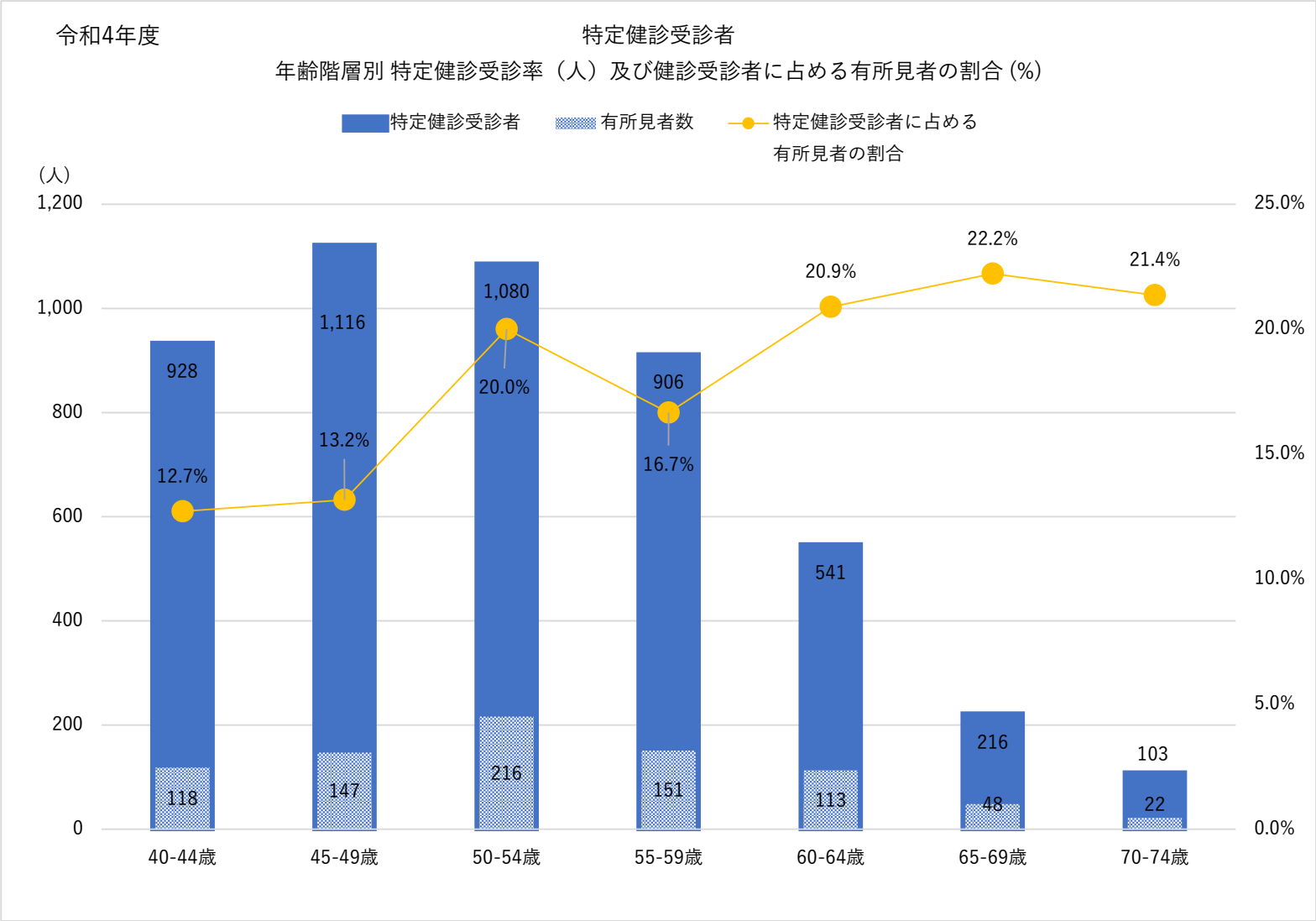

令和4年度
特定健診受診者
年齢階層別 特定健診受診者に占める有所見者のメタボ判定別 該当者割合(%)
腹囲のみ（メタボ非該当）
メタボ予備群
メタボ該当者
合計
10.1%
18.9%
21.4%
50.4%
40-44歳
14.3%
17.9%
12.1%
44.3%
45-49歳
12.3%
17.6%
18.9%
48.8%
50-54歳
9.5%
20.8%
21.1%
51.4%
55-59歳
8.7%
19.5%
27.0%
55.1%
60-64歳
4.9%
18.9%
29.4%
53.3%
65-69歳
3.7%
20.0%
31.9%
55.6%
70-74歳
5.7%
14.5%
32.7%
52.8%
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
60.0%

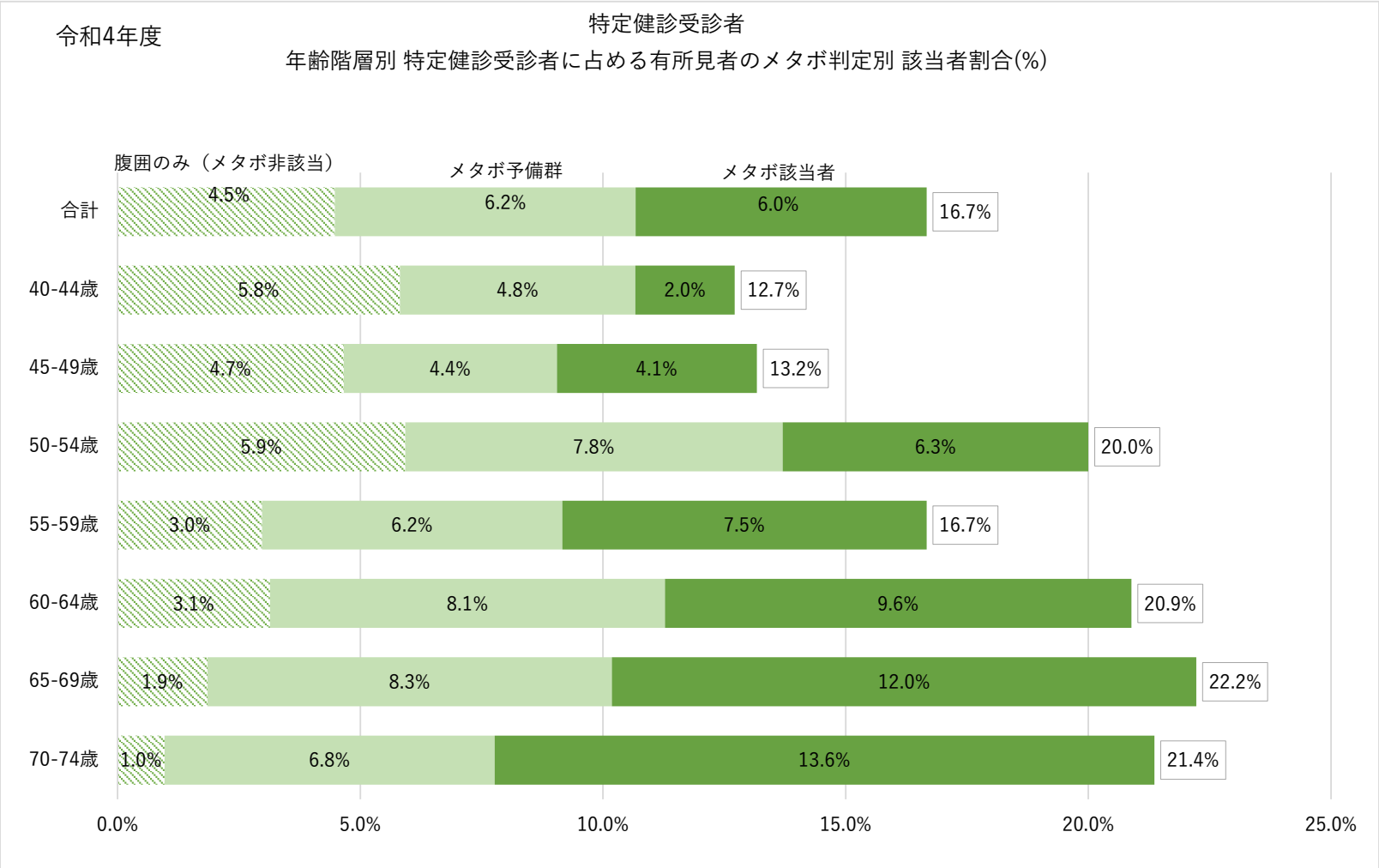
令和4年度

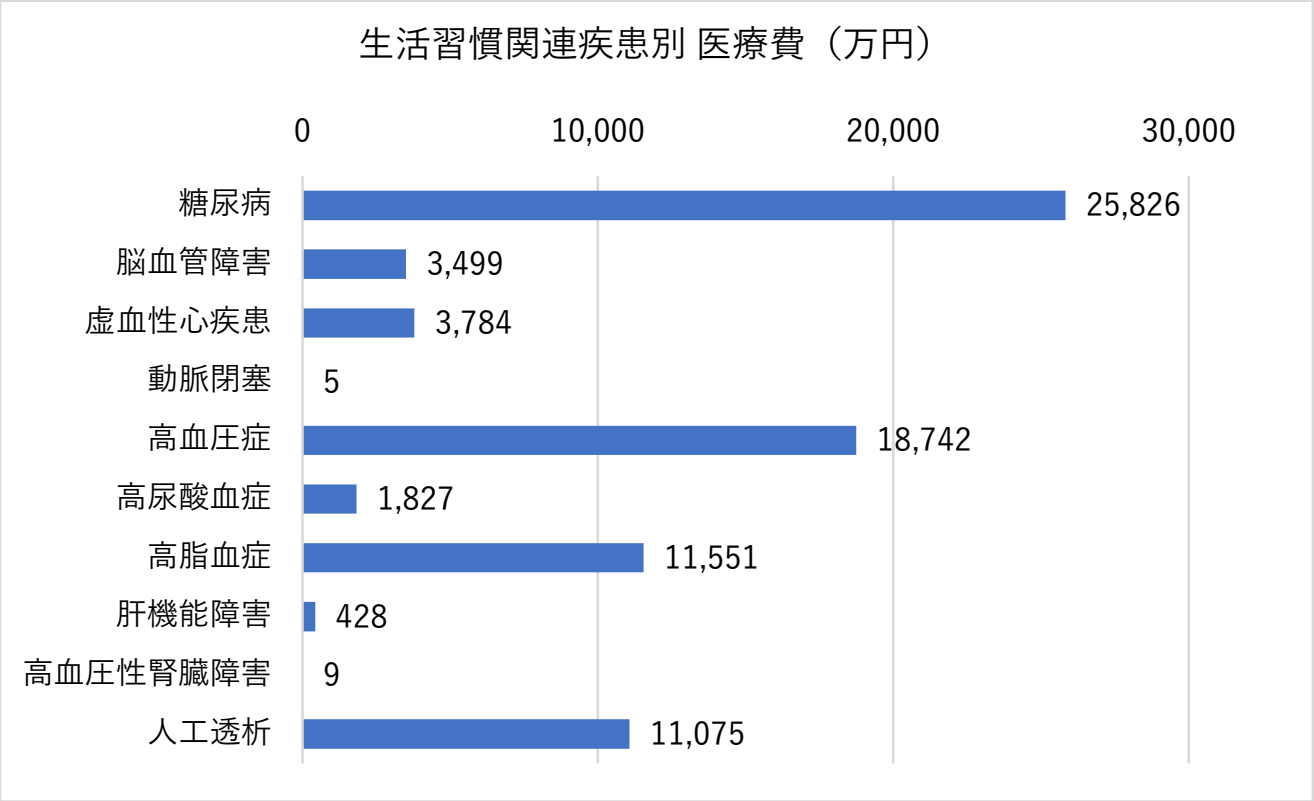
特定健診受診者

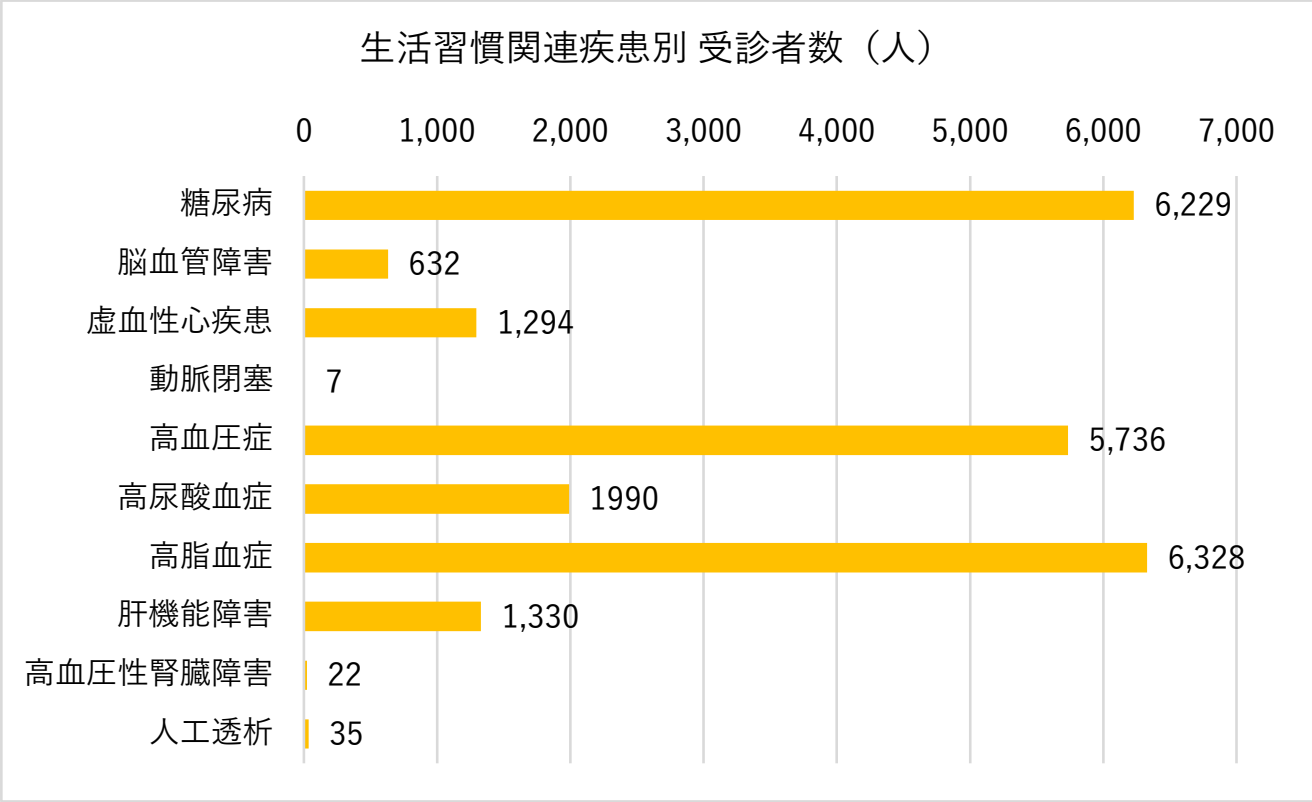
特定健診受診者に占める有所見者のメタボ判定別・要因別 該当者割合(%)

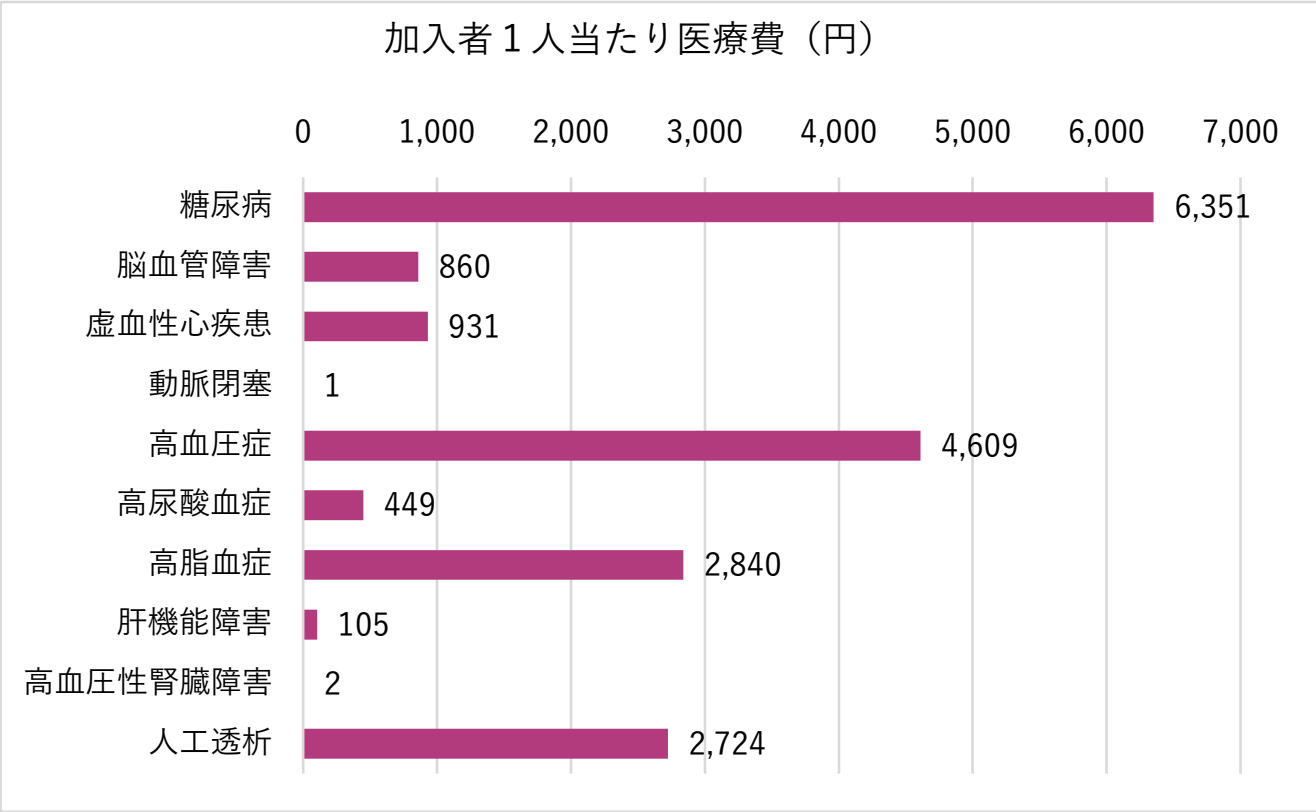


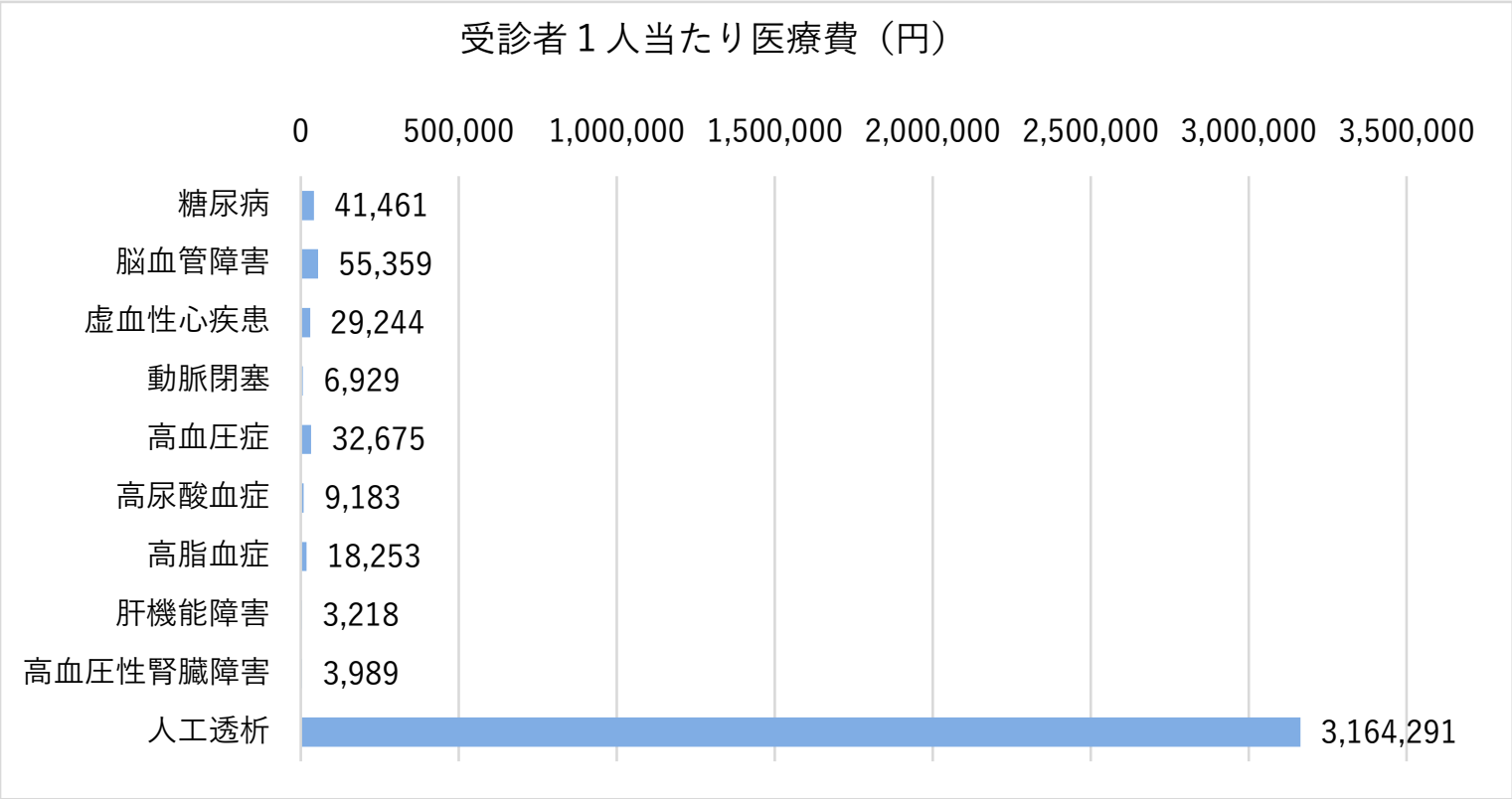

令和4年度
特定健診受診者
年齢階層別 特定健診受診率（人）及び健診受診者に占める有所見者の割合 (%)
特定健診受診者
有所見者数
特定健診受診者に占める有所見者の割合
（人）
1,200
1,000
800
600
400
200
0
25.0%
20.0%
15.0%
10.0%
5.0%
0.0%
928
118
12.7%
1,116
147
13.2%
1,080
216
20.0%
906
151
16.7%
541
113
20.9%
216
48
22.2%
103
22
21.4%
40-44歳
45-49歳
50-54歳
55-59歳
60-64歳
65-69歳
70-74歳


令和4年度
特定健診受診者
年齢階層別 特定健診受診者に占める有所見者のメタボ判定別 該当者割合(%)
腹囲のみ（メタボ非該当）
メタボ予備群
メタボ該当者
合計
4.5%
6.2%
6.0%
16.7%
40-44歳
5.8%
4.8%
2.0%
12.7%
45-49歳
4.7%
4.4%
4.1%
13.2%
50-54歳
5.9%
7.8%
6.3%
20.0%
55-59歳
3.0%
6.2%
7.5%
16.7%
60-64歳
3.1%
8.1%
9.6%
20.9%
65-69歳
1.9%
8.3%
12.0%
22.2%
70-74歳
1.0%
6.8%
13.6%
21.4%
0.0%
5.0%
10.0%
15.0%
20.0%
25.0%


生活習慣関連疾患別 医療費（万円）
0
10,000
20,000
30,000
糖尿病
25,826
脳血管障害
3,499
虚血性心疾患
3,784
動脈閉塞
5
高血圧症
18,742
高尿酸血症
1,827
高脂血症
11,551
肝機能障害
428
高血圧性腎臓障害
9
人工透析
11,075


生活習慣関連疾患別 受診者数（人）
0
1,000
2,000
3,000
4,000
5,000
6,000
7,000
糖尿病
6,229
脳血管障害
632
虚血性心疾患
1,294
動脈閉塞
7
高血圧症
5,736
高尿酸血症
1990
高脂血症
6,328
肝機能障害
1,330
高血圧性腎臓障害
22
人工透析
35


加入者１人当たり医療費（円）
0
1,000
2,000
3,000
4,000
5,000
6,000
7,000
糖尿病
6,351
脳血管障害
860
虚血性心疾患
931
動脈閉塞
1
高血圧症
4,609
高尿酸血症
449
高脂血症
2,840
肝機能障害
105
高血圧性腎臓障害
2
人工透析
2,724


受診者１人当たり医療費（円）
0
500,000
1,000,000
1,500,000
2,000,000
2,500,000
3,000,000
3,500,000
糖尿病
41,461
脳血管障害
55,359
虚血性心疾患
29,244
動脈閉塞
6,929
高血圧症
32,675
高尿酸血症
9,183
高脂血症
18,253
肝機能障害
3,218
高血圧性腎臓障害
3,989
人工透析
3,164,291

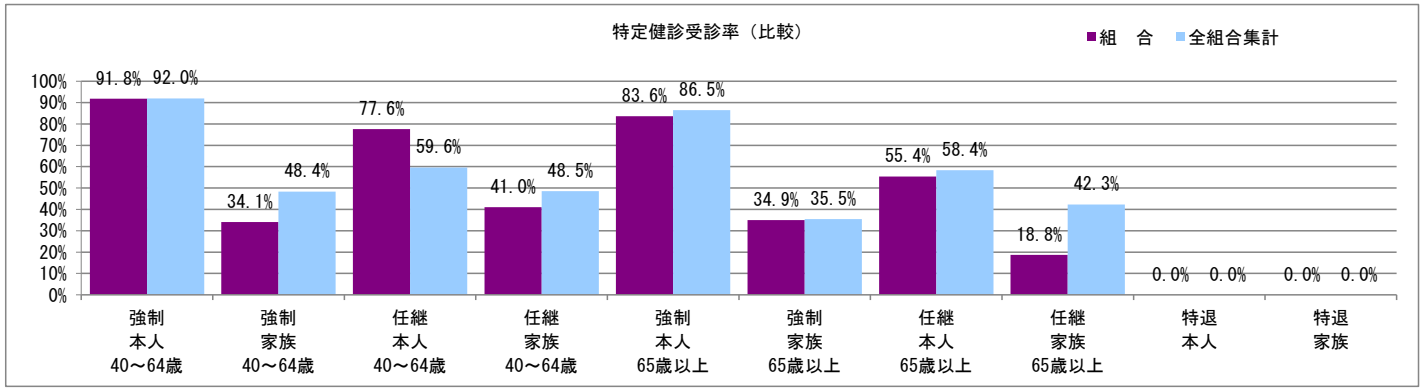
特定健診受診率　全体集計比較

全国硝子業健康保険組合
帳票作成日　令和06年03月12日

健診実施年度	比較対象	
令和04年	全組合計	

組　合	強 制			任　継			特　退		
年齢区分	本人家族計	本人	家族	本人家族計	本人	家族	本人家族計	本人	家族
30-34歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	－	－	－
35-39歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	－	－	－
40歳未満合計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	－	－	－
40-44歳	80.8%	93.1%	32.2%	87.5%	85.7%	100.0%	－	－	－
45-49歳	79.3%	91.4%	30.8%	66.7%	62.5%	75.0%	－	－	－
50-54歳	80.7%	92.9%	34.2%	60.0%	83.3%	25.0%	－	－	－
55-59歳	79.3%	91.1%	35.4%	62.5%	77.8%	42.9%	－	－	－
60-64歳	77.7%	89.5%	40.1%	61.7%	78.4%	34.8%	－	－	－
65-69歳	73.3%	88.4%	39.9%	46.3%	56.5%	15.0%	－	－	－
70-74歳	51.1%	72.0%	29.4%	42.4%	52.4%	25.0%	－	－	－
75歳以上	－	－	－	－	－	－	－	－	－
40歳以上合計	78.7%	91.3%	34.2%	54.3%	65.3%	31.0%	－	－	－

全組合集計	強 制			任　継			特　退		
年齢区分	本人家族計	本人	家族	本人家族計	本人	家族	本人家族計	本人	家族
30-34歳	28.8%	31.9%	8.1%	8.5%	12.6%	2.2%	－	－	－
35-39歳	35.9%	40.4%	16.5%	15.3%	20.7%	6.2%	－	－	－
40歳未満合計	32.5%	36.2%	13.3%	11.8%	16.6%	4.1%	－	－	－
40-44歳	81.7%	91.7%	45.7%	43.9%	50.4%	27.9%	－	－	－
45-49歳	82.3%	92.2%	48.2%	48.4%	52.1%	38.2%	－	－	－
50-54歳	82.4%	92.6%	49.6%	51.3%	54.5%	46.5%	－	－	－
55-59歳	82.1%	91.8%	50.1%	54.0%	59.7%	49.6%	－	－	－
60-64歳	81.3%	91.1%	47.4%	56.4%	61.8%	49.7%	－	－	－
65-69歳	74.8%	88.0%	39.1%	55.7%	59.4%	43.8%	－	－	－
70-74歳	59.8%	82.1%	30.0%	49.2%	53.8%	36.0%	－	－	－
75歳以上	－	－	－	－	－	－	－	－	－
40歳以上合計	81.4%	91.7%	47.4%	54.5%	58.9%	46.4%	－	－	－



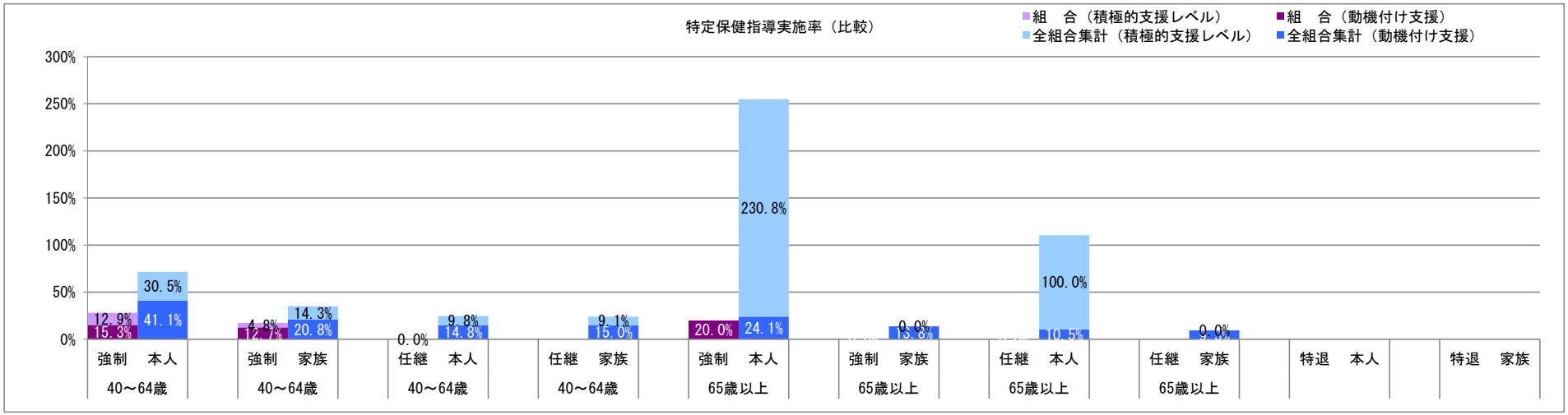
特定保健指導実施率　全体集計比較

全国硝子業健康保険組合
帳票作成日　令和06年03月12日

健診実施年度	比較対象	
令和04年	全組合計	

組　合	強　制						任　継						特　退					
	積極的支援レベル			動機付け支援			積極的支援レベル			動機付け支援			積極的支援レベル			動機付け支援		
年齢区分	本人家族計	本人	家族	本人家族計	本人	家族	本人家族計	本人	家族	本人家族計	本人	家族	本人家族計	本人	家族	本人家族計	本人	家族
40-44歳	10.7%	10.9%	0.0%	11.7%	12.0%	7.7%	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
45-49歳	11.9%	12.2%	0.0%	17.0%	17.5%	7.1%	0.0%	0.0%	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
50-54歳	15.2%	15.5%	0.0%	15.2%	14.9%	18.8%	0.0%	0.0%	－	0.0%	0.0%	－	－	－	－	－	－	－
55-59歳	13.7%	14.1%	0.0%	18.9%	18.6%	23.1%	0.0%	0.0%	－	0.0%	0.0%	－	－	－	－	－	－	－
60-64歳	10.5%	9.8%	28.6%	11.8%	12.6%	0.0%	0.0%	0.0%	－	0.0%	0.0%	－	－	－	－	－	－	－
65-69歳	－	－	－	16.9%	18.3%	0.0%	－	－	－	0.0%	0.0%	－	－	－	－	－	－	－
70-74歳	－	－	－	21.4%	26.1%	0.0%	－	－	－	0.0%	0.0%	－	－	－	－	－	－	－
75歳以上	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
合　計	12.8%	13.0%	4.8%	15.4%	15.7%	10.7%	0.0%	0.0%	－	0.0%	0.0%	－	－	－	－	－	－	－

全組合集計	強　制						任　継						特　退					
	積極的支援レベル			動機付け支援			積極的支援レベル			動機付け支援			積極的支援レベル			動機付け支援		
年齢区分	本人家族計	本人	家族	本人家族計	本人	家族	本人家族計	本人	家族	本人家族計	本人	家族	本人家族計	本人	家族	本人家族計	本人	家族
40-44歳	31.0%	31.3%	14.6%	40.2%	41.6%	21.3%	14.6%	13.8%	21.7%	9.9%	10.1%	8.3%	－	－	－	－	－	－
45-49歳	30.4%	30.8%	14.7%	39.4%	41.2%	21.1%	3.1%	3.4%	0.0%	11.1%	11.2%	10.3%	－	－	－	－	－	－
50-54歳	30.0%	30.6%	14.4%	39.4%	41.5%	21.3%	7.0%	7.4%	4.5%	14.7%	15.5%	12.6%	－	－	－	－	－	－
55-59歳	30.0%	30.7%	14.5%	39.4%	41.5%	20.8%	9.9%	9.8%	10.2%	15.3%	13.4%	17.9%	－	－	－	－	－	－
60-64歳	27.1%	27.8%	12.7%	35.4%	37.4%	17.6%	10.2%	10.4%	9.0%	15.6%	16.0%	14.6%	－	－	－	－	－	－
65-69歳	210.7%	236.0%	0.0%	23.9%	24.7%	14.8%	83.3%	100.0%	0.0%	10.9%	10.9%	10.3%	－	－	－	－	－	－
70-74歳	33.3%	100.0%	0.0%	20.4%	21.9%	11.7%	－	－	－	8.0%	8.4%	4.6%	－	－	－	－	－	－
75歳以上	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
合　計	30.0%	30.5%	14.3%	38.1%	39.9%	20.2%	9.7%	9.9%	9.1%	11.9%	11.7%	12.8%	－	－	－	－	－	－



STEP２ 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき課題
1	ア，イ，ウ，エ，オ，カ	当健保組合の特定健診の結果より、男性受診者10,251人のうち50.4%の5,171人、女性受診者4,890人のうち16.7%の815人が腹囲が基準値以上（以下、有所見者）と判別されている。 有所見者と判別された受診者のうち、男性で約80%、女性で約73%がメタボ予備軍及びメタボ該当者と判別されている。 更に男女ともに年齢が高くなるにつれて特定健診受診者に対する有所見者の割合が高くなり、メタボ該当者の割合が多くなる傾向にある。	→	メタボ予備軍及び該当者と判定される要因である“高血糖”・“高血圧”・“高脂血”を予防するには、生活習慣の改善が必要となることから、特定保健指導（特に年齢層の低いものからの）の実施率向上の取組みが必要とされる。	✔
2	キ，ク，ケ，コ	生活習慣関連疾患別の統計から、医療費及び受診者数ともにメタボ判定の要因である“糖尿病”・“高血圧症”・“高脂血症”が高い数値を示している。 上記の疾病の次に医療費の高い“人工透析”については、受診者数は少ないが、受診者1人当たり医療費は群を抜いて高額となっている。	→	受診者数が多い疾病への対策としては、健診受診の勧奨、機関誌、ホームページ、リーフレット配布等による広報活動、受診者が少ない疾病への対応は特定保健指導の実施案内等個別の保健事業など、対象者の規模に応じた保健事業の展開が必要となる。	
3	サ，シ	当健保組合の特定健診受診率は、全組合平均と比較して被保険者本人は同程度であるが、被扶養者については全組合平均を大きく下回っている。 特定保健指導実施率は、 積極的支援レベル、動機付け支援ともに、本人・家族全てにおいて全組合平均を大きく下回っている。	→	被扶養者には引き続き特定健診受診券を直接自宅へ送付し、パート先等で受診をした結果を多く提供していただけるよう機関誌等を利用した広報活動を実施する必要がある。 特定保健指導は就業時間中の実施など、事業所の協力も必要となるため、健康企業宣言を通じた働きかけや、申込みのハードルを下げる利便性の高い実施方法の検討が必要となる。	✔

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	当組合は、全国に加入者が約4万人、事業所数は約420事業所となっている。拠点も本社、営業所、工場など全国に点在している。 平均年齢は男女とも40歳を超えており、45歳から49歳の層に最も多く分布している。 従業員数が50名未満の事業場が6割を占めている。	→	事業所や拠点が全国に点在するため、全ての加入者への効果が期待できる事業や、健康企業宣言への参加など健保組合と協働をしていただける事業所へはスポット的な対応など、ケースごとに柔軟な保健事業の展開が必要となる。 生活習慣関連疾患を発症する率の高い年齢層に加入者が多く分布している傾向を考慮した事業展開が必要となる。 産業医が未選任の事業所の職場環境の改善が期待できる事業の展開が必要となる。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	健康企業宣言または健保組合との協働事業に積極的に参加してくれる事業者が少ない。	→	事業所の規模、年齢構成、健診結果等を勘案して対象事業所を選定し、健保組合が積極的にアプローチして協働事業を実施するようにする。
2	事業所により保健事業に対する考え方が異なる。例えば、事業に積極的な事業所と無関心な事業所。	→	多くの事業所が参加できる事業の実施。 事業所ごとの問題点の抽出。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的
加入員の健康保持及び増進

事業全体の目標
健診の受診率及び特定保健指導の実施率の向上
生活習慣関連疾患の医療費の削減
加入員のヘルスリテラシーの向上

事業の一覧

職場環境の整備	
保健指導宣伝	健保委員事務講習会
疾病予防	健康経営の促進
その他	健康管理事業推進委員会
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	機関誌発行
保健指導宣伝	ホームページ
保健指導宣伝	個人向けポータルサイトの運営
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	メンタルヘルスカウンセリング
保健指導宣伝	健康相談
保健指導宣伝	後発医薬品の差額通知
保健指導宣伝	出産記念品・パンフレット・小冊子の配布
保健指導宣伝	前期高齢者向け電話保健指導
疾病予防	若年者健診
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	女性生活習慣病健診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
体育奨励	施設利用法人契約
その他	健保会館「両国健康センター」
予算措置なし	共同保健事業
予算措置なし	家庭常備薬の斡旋

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円) 実施計画						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
	アウトプット指標													アウトカム指標						
職場環境の整備																				
保健指導宣伝	1	既存	健保委員事務講習会	一部の事業所	男女	16～74	被保険者	1	ス	事務講習会を開催し、事業主より推薦を受けた健康保険委員に対し、健保組合の事業計画や法改正、健康情報を周知する	シ	-	520	-	-	-	-	-	円滑な事業運営の促進	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
													4月に事務講習会を開催。	継続	継続	継続	継続	継続		
	開催回数(【実績値】1回　【目標値】令和6年度：1回　令和7年度：1回　令和8年度：1回　令和9年度：1回　令和10年度：1回　令和11年度：1回)-													参加者数(【実績値】0人　【目標値】令和6年度：60人　令和7年度：60人　令和8年度：60人　令和9年度：60人　令和10年度：60人　令和11年度：60人)令和5年度はコロナウィルス感染症予防のため、会場での開催は中止						
疾病予防	1,5	既存	健康経営の促進	全て	男女	16～74	被保険者	3	ケ	健康企業宣言や健康経営に取組む事業所に対し、医療保険者としてアドバイスをしサポートする	ア	事業所と健保組合が協働で実施	2,640	-	-	-	-	-	事業所の健康経営を通じて、加入員の健康増進やヘルスリテラシーの向上を図る 特定保健指導実施率の向上を図る	当健保組合の特定健診受診率は、全組合平均と比較して被保険者本人は同程度であるが、被扶養者については全組合平均を大きく下回っている。 特定保健指導実施率は、 積極的支援レベル、動機付け支援ともに、本人・家族全てにおいて全組合平均を大きく下回っている。
													機関誌やスポットでの広報を実施し、参加事業所数を拡大する	継続	継続	継続	継続	継続		
	参加事業所数(【実績値】17件　【目標値】令和6年度：20件　令和7年度：23件　令和8年度：25件　令和9年度：27件　令和10年度：29件　令和11年度：30件)-													認定事業所数(【実績値】14件　【目標値】令和6年度：20件　令和7年度：23件　令和8年度：25件　令和9年度：27件　令和10年度：29件　令和11年度：30件)-						
その他	1	新規	健康管理事業推進委員会	一部の事業所	男女	16～74	基準該当者	3	ス	年1回及び必要に応じて随時開催する	ア,ウ	事業主代表3名、被保険者代表3名、医師1名、健保組合職員3名の定数10名で構成	-	-	-	-	-	-	健保組合の保健事業の円滑な運営及び改善を図る	該当なし
													年1回以上、委員会を開催し保健事業の中長期にわたる企画立案、実施計画の策定、実施計画の分析、評価を行う	継続	継続	継続	継続	継続		
	開催回数(【実績値】-　【目標値】令和6年度：2回　令和7年度：1回　令和8年度：1回　令和9年度：1回　令和10年度：1回　令和11年度：1回)-													協議及び立案を行う場であり、アウトカムを行うことが困難であるため (アウトカムは設定されていません)						
加入者への意識づけ																				
保健指導宣伝	2	既存	医療費通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	「医療費のお知らせ」を作成し通知する	シ	-	2,000	-	-	-	-	-	加入者に自身の医療費の実情や健康に対する認識を深めてもらう	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
													年1回（2月）通知	継続	継続	継続	継続	継続		
	年１回実施(【実績値】1回　【目標値】令和6年度：1回　令和7年度：1回　令和8年度：1回　令和9年度：1回　令和10年度：1回　令和11年度：1回)-													情報提供事業であるため (アウトカムは設定されていません)						
	5	既存	機関誌発行	全て	男女	16～74	加入者全員	1	ス	「ガラスけんぽニュース」を作成し、強制被保険者へは事業所を経由し、任意継続被保険者へは自宅へ直接送付している	シ	-	4,900	-	-	-	-	-	健保組合の事業内容及び健康管理に対する情報や知識を広く周知し、ヘルスリテラシーの向上と円滑な事業運営を図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
													年2回（4月・10月）発行	継続	継続	継続	継続	継続		
	機関誌発行(【実績値】2回　【目標値】令和6年度：2回　令和7年度：2回　令和8年度：2回　令和9年度：2回　令和10年度：2回　令和11年度：2回)-													情報提供事業であるため (アウトカムは設定されていません)						
	5	既存	ホームページ	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	2,000	-	-	-	-	-	健保組合の事業内容や法改正情報、健康管理に対する情報や知識を広く周知し、ヘルスリテラシーの向上と円滑な事業運営を図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
													随時更新	継続	継続	継続	継続	継続		
	更新回数(【実績値】18回　【目標値】令和6年度：24回　令和7年度：24回　令和8年度：24回　令和9年度：24回　令和10年度：24回　令和11年度：24回)-													アクセス回数（月平均）(【実績値】8,000回　【目標値】令和6年度：9,000回　令和7年度：9,000回　令和8年度：9,000回　令和9年度：9,000回　令和10年度：9,000回　令和11年度：9,000回)-						
	2	既存	個人向けポータルサイトの運営	全て	男女	16～74	被保険者,基準該当者	1	ア,エ,オ,カ	個人向けポータルサイトを通じてヘルスリテラシーの向上を図る 閲覧回数などに応じてポイント（インセンティブ）を付与する	ウ,エ	-	6,000	-	-	-	-	-	加入員のヘルスリテラシーの向上と健康増進	該当なし
													機関誌やスポットでの広報を実施し、利用者の拡大を図る	継続	継続	継続	継続	継続		
	利用登録者数(【実績値】344人　【目標値】令和6年度：500人　令和7年度：600人　令和8年度：700人　令和9年度：800人　令和10年度：900人　令和11年度：1,000人)-													利用登録者率(【実績値】1.2%　【目標値】令和6年度：1.74%　令和7年度：2.09%　令和8年度：2.44%　令和9年度：2.79%　令和10年度：3.13%　令和11年度：3.48%)-						
個別の事業																				
													8,181	-	-	-	-	-		

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円) 実施計画						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
	アウトプット指標													アウトカム指標						
特定健康診査事業	3	既存（法定）	特定健診	全て	男女	40～74	被扶養者,任意継続者	1	ウ	対象者に受診券の配布	オ	-	40歳以上の対象者に対し、案内と受診券を自宅に直接送付して受診率の向上を図る。	継続	継続	継続	継続	継続	受診率の向上及び加入者の健康維持	当健保組合の特定健診の結果より、男性受診者10,251人のうち50.4%の5,171人、女性受診者4,890人のうち16.7%の815人が腹囲が基準値以上（以下、有所見者）と判別されている。 有所見者と判別された受診者のうち、男性で約80%、女性で約73%がメタボ予備軍及びメタボ該当者と判別されている。 更に男女ともに年齢が高くなるにつれて特定健診受診者に対する有所見者の割合が高くなり、メタボ該当者の割合が多くなる傾向にある。 当健保組合の特定健診受診率は、全組合平均と比較して被保険者本人は同程度であるが、被扶養者については全組合平均を大きく下回っている。 特定保健指導実施率は、 積極的支援レベル、動機付け支援ともに、本人・家族全てにおいて全組合平均を大きく下回っている。
	受診券送付(【実績値】100%　【目標値】令和6年度：100%　令和7年度：100%　令和8年度：100%　令和9年度：100%　令和10年度：100%　令和11年度：100%)-													受診率(【実績値】35%　【目標値】令和6年度：40%　令和7年度：40%　令和8年度：40%　令和9年度：40%　令和10年度：40%　令和11年度：40%)-						
特定保健指導事業	4	既存（法定）	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	エ,コ,サ	対象者へ東振協や専門事業者との委託契約に基づき実施する	ア,ウ,カ	利用券を使用する方法と健保組合委託契約先で実施	15,315 委託契約先からの働きかけやWEBによる面談の導入、機関誌での広報などで実施率の向上を図る	- 継続	- 継続	- 継続	- 継続	- 継続	実施率の向上及び加入者の健康維持	当健保組合の特定健診の結果より、男性受診者10,251人のうち50.4%の5,171人、女性受診者4,890人のうち16.7%の815人が腹囲が基準値以上（以下、有所見者）と判別されている。 有所見者と判別された受診者のうち、男性で約80%、女性で約73%がメタボ予備軍及びメタボ該当者と判別されている。 更に男女ともに年齢が高くなるにつれて特定健診受診者に対する有所見者の割合が高くなり、メタボ該当者の割合が多くなる傾向にある。 当健保組合の特定健診受診率は、全組合平均と比較して被保険者本人は同程度であるが、被扶養者については全組合平均を大きく下回っている。 特定保健指導実施率は、 積極的支援レベル、動機付け支援ともに、本人・家族全てにおいて全組合平均を大きく下回っている。
	実施率(【実績値】14%　【目標値】令和6年度：20%　令和7年度：20%　令和8年度：20%　令和9年度：20%　令和10年度：20%　令和11年度：20%)-													特定保健指導対象者割合(【実績値】32%　【目標値】令和6年度：31%　令和7年度：31%　令和8年度：30%　令和9年度：30%　令和10年度：29%　令和11年度：29%)特定保健指導該当者／特定健診受診者（%)						
保健指導宣伝	5,6	既存	メンタルヘルスカウンセリング	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	こころの悩みを電話による相談または面接カウンセリング	ウ	24時間電話対応可能	1,218 専門職に委託して実施	- 継続	- 継続	- 継続	- 継続	- 継続	うつ病等の発症予防　関連給付費（傷病手当金）の抑制。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	利用者数(【実績値】40人　【目標値】令和6年度：40人　令和7年度：40人　令和8年度：40人　令和9年度：40人　令和10年度：40人　令和11年度：40人)-													周知との兼ね合いもあり、利用者数の削減が効果を反映しているとは言い難いため (アウトカムは設定されていません)						
	6	既存	健康相談	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	健康に対する不安や心配に対応。	ウ	24時間電話対応可能	2,119 専門職に委託して実施	- 継続	- 継続	- 継続	- 継続	- 継続	-	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	利用者数(【実績値】190人　【目標値】令和6年度：190人　令和7年度：190人　令和8年度：190人　令和9年度：190人　令和10年度：190人　令和11年度：190人)-													周知との兼ね合いもあり、利用者数の減少が成果に反映しているとは言い難いため。 (アウトカムは設定されていません)						
	7	既存	後発医薬品の差額通知	全て	男女	20～74	基準該当者	1	キ,ク	対象者を抽出し通知	シ	-	3,000 効果が期待できる対象者を抽出し通知、4か月後からのレセプトをもとに効果検証を実施。	- 継続	- 継続	- 継続	- 継続	- 継続	薬剤療養費の抑制 切替率の向上	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円) 実施計画						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
	アウトプット指標													アウトカム指標						
	通知数(【実績値】4,115人　【目標値】令和6年度：4,000人　令和7年度：4,000人　令和8年度：4,000人　令和9年度：4,000人　令和10年度：4,000人　令和11年度：4,000人)-													切替率(【実績値】64%　【目標値】令和6年度：68%　令和7年度：68%　令和8年度：68%　令和9年度：68%　令和10年度：69%　令和11年度：70%)-							
	5	既存	出産記念品・パンフレット・小冊子の配布	全て	男女	0～74	基準該当者	1	ス	出産育児一時金の支給実績より対象者を抽出し、案内を送付 四半期ごとに事業所担当者へ送付	シ	-	3,030 初産により育児中の加入者への情報提供や事業所担当者への季節ごとの健康情報の提供	- 継続	- 継続	- 継続	- 継続	- 継続	-	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	出産記念品案内件数(【実績値】161件　【目標値】令和6年度：160件　令和7年度：160件　令和8年度：160件　令和9年度：160件　令和10年度：160件　令和11年度：160件)-													申込件数(【実績値】55件　【目標値】令和6年度：60件　令和7年度：60件　令和8年度：65件　令和9年度：65件　令和10年度：70件　令和11年度：70件)-							
	5,6	既存	前期高齢者向け電話保健指導	全て	男女	61～71	その他	1	ス	対象者を抽出し通知	ウ	保健師による相談・指導	3,000 60歳から64歳の被扶養者を中心に対象者を抽出して実施	- 継続	- 継続	- 継続	- 継続	- 継続	前期高齢者の将来の医療費の抑制。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	通知者数(【実績値】350人　【目標値】令和6年度：350人　令和7年度：350人　令和8年度：350人　令和9年度：350人　令和10年度：350人　令和11年度：350人)-													実施完了者数(【実績値】75人　【目標値】令和6年度：80人　令和7年度：80人　令和8年度：80人　令和9年度：80人　令和10年度：80人　令和11年度：80人)健康に対する意識改革（治療より予防・生活改善）							
疾病予防	3	既存	若年者健診	全て	男女	16～29	被保険者	1	ス	毎年健診受診要領を作成し事業所へ通知（案内） 主に事業所巡回及び各契約健診機関等において実施	カ	年1回健診費用一部補助	4,880 毎年、全事業所及び任意継続被保険者へ受診要領を通知し、年度1回の一部補助を支給	- 継続	- 継続	- 継続	- 継続	- 継続	疾病の早期発見と予防	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	実施の周知(【実績値】100%　【目標値】令和6年度：100%　令和7年度：100%　令和8年度：100%　令和9年度：100%　令和10年度：100%　令和11年度：100%)-													受診者数(【実績値】1,131人　【目標値】令和6年度：1,200人　令和7年度：1,200人　令和8年度：1,200人　令和9年度：1,300人　令和10年度：1,300人　令和11年度：1,300人)-							
													198,370	-	-	-	-	-		当健保組合の特定健診の結果より、男性受診者10,251人のうち50.4%の5,171人、女性受診者4,890人のうち16.7%の815人が腹囲が基準値以上（以下、有所見者）と判別されている。 有所見者と判別された受診者のうち、男性で約80%、女性で約73%がメタボ予備軍及びメタボ該当者と判別されている。 更に男女ともに年齢が高くなるにつれて特定健診受診者に対する有所見者の割合が高くなり、メタボ該当者の割合が多くなる傾向にある。
	3	既存	生活習慣病健診	全て	男女	30～74	加入者全員	1	ス	毎年健診受診要領を作成し事業所へ通知（案内） 主に事業所巡回及び各契約健診機関等において実施	カ	年1回健診費用の一部補助	毎年、全事業所及び任意継続被保険者へ受診要領を通知し、年度1回の一部補助を支給	継続	継続	継続	継続	継続	疾病の早期発見と予防 特定健診受診率の向上	当健保組合の特定健診受診率は、全組合平均と比較して被保険者本人は同程度であるが、被扶養者については全組合平均を大きく下回っている。 特定保健指導実施率は、 積極的支援レベル、動機付け支援ともに、本人・家族全てにおいて全組合平均を大きく下回っている。
	実施の周知(【実績値】100%　【目標値】令和6年度：100%　令和7年度：100%　令和8年度：100%　令和9年度：100%　令和10年度：100%　令和11年度：100%)-													受診者数(【実績値】14,181人　【目標値】令和6年度：15,000人　令和7年度：15,000人　令和8年度：15,000人　令和9年度：16,000人　令和10年度：16,000人　令和11年度：16,000人)-							
													35,733	-	-	-	-	-		

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円) 実施計画						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
	アウトプット指標													アウトカム指標						
	3	既存	女性生活習慣病健診	全て	女性	30～74	基準該当者	1	ス	毎年健診受診要領を作成し事業所へ通知（案内）事業所巡回及び各契約健診機関等に加え会場集合健診も実施	カ	年1回は健診費用の一部補助	毎年、全事業所及び任意継続被保険者へ受診要領を通知し、年度1回の一部補助を支給	継続	継続	継続	継続	継続	疾病の早期発見と予防 特定健診受診率の向上	当健保組合の特定健診の結果より、男性受診者10,251人のうち50.4%の5,171人、女性受診者4,890人のうち16.7%の815人が腹囲が基準値以上（以下、有所見者）と判別されている。 有所見者と判別された受診者のうち、男性で約80%、女性で約73%がメタボ予備軍及びメタボ該当者と判別されている。 更に男女ともに年齢が高くなるにつれて特定健診受診者に対する有所見者の割合が高くなり、メタボ該当者の割合が多くなる傾向にある。 当健保組合の特定健診受診率は、全組合平均と比較して被保険者本人は同程度であるが、被扶養者については全組合平均を大きく下回っている。 特定保健指導実施率は、 積極的支援レベル、動機付け支援ともに、本人・家族全てにおいて全組合平均を大きく下回っている。
	実施の周知(【実績値】100%　【目標値】令和6年度：100%　令和7年度：100%　令和8年度：100%　令和9年度：100%　令和10年度：100%　令和11年度：100%)-													実施者数(【実績値】1,873人　【目標値】令和6年度：1,900人　令和7年度：1,900人　令和8年度：1,950人　令和9年度：2,000人　令和10年度：2,000人　令和11年度：2,000人)-						
													142,800	-	-	-	-	-		
	3	既存	人間ドック	全て	男女	35～74	基準該当者	1	ス	毎年健診受診要領を作成し事業所へ通知（案内）各契約健診機関等において実施	カ	年1回は健診費用の一部補助	毎年、全事業所及び任意継続被保険者へ受診要領を通知し、年度1回の一部補助を支給	継続	継続	継続	継続	継続	疾病の早期発見と予防 特定健診受診率の向上	当健保組合の特定健診の結果より、男性受診者10,251人のうち50.4%の5,171人、女性受診者4,890人のうち16.7%の815人が腹囲が基準値以上（以下、有所見者）と判別されている。 有所見者と判別された受診者のうち、男性で約80%、女性で約73%がメタボ予備軍及びメタボ該当者と判別されている。 更に男女ともに年齢が高くなるにつれて特定健診受診者に対する有所見者の割合が高くなり、メタボ該当者の割合が多くなる傾向にある。 当健保組合の特定健診受診率は、全組合平均と比較して被保険者本人は同程度であるが、被扶養者については全組合平均を大きく下回っている。 特定保健指導実施率は、 積極的支援レベル、動機付け支援ともに、本人・家族全てにおいて全組合平均を大きく下回っている。
	実施の周知(【実績値】100%　【目標値】令和6年度：100%　令和7年度：100%　令和8年度：100%　令和9年度：100%　令和10年度：100%　令和11年度：100%)-													受診者数(【実績値】5,119人　【目標値】令和6年度：5,200人　令和7年度：5,200人　令和8年度：5,250人　令和9年度：5,250人　令和10年度：5,300人　令和11年度：5,300人)-						
													12,500	-	-	-	-	-		
	8	既存	インフルエンザ予防接種補助	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	加入者個人が自主的に実施または事業所で集団接種	ク,シ	年1回接種補助	全事業所及び任意継続被保険者へ流行期前に事業を通知し、接種費用の一部を補助	継続	継続	継続	継続	継続	インフルエンザの罹患と重症化の予防	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	接種者数(【実績値】9,304人　【目標値】令和6年度：9,400人　令和7年度：9,400人　令和8年度：9,450人　令和9年度：9,450人　令和10年度：9,500人　令和11年度：9,500人)-													接種率(【実績値】22.8%　【目標値】令和6年度：24%　令和7年度：24%　令和8年度：25%　令和9年度：25%　令和10年度：26%　令和11年度：26%)接種者数／対象者数（%）						
体育奨励													3,600	-	-	-	-	-		
	8	既存	施設利用法人契約	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	実施事業者と法人契約をし、加入員へ会員特典及び付加価値サービスを提供する	シ	ホームページからサイトへリンク	機関誌及びホームページを用いた広報を展開し利用者数の増加を図る	継続	継続	継続	継続	継続	加入者の心身のリフレッシュと健康増進	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	利用人数(【実績値】12,710人　【目標値】令和6年度：13,000人　令和7年度：13,000人　令和8年度：13,500人　令和9年度：13,500人　令和10年度：14,000人　令和11年度：14,000人)-													利用人数割合(【実績値】31.2%　【目標値】令和6年度：32%　令和7年度：32%　令和8年度：33%　令和9年度：33%　令和10年度：34%　令和11年度：34%)利用人数／対象者数（%）						
													63,442	-	-	-	-	-		

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円) 実施計画						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
	アウトプット指標													アウトカム指標						
その他	8	既存	健保会館「両国健康センター」	全て	男女	0～（上限なし）	加入者全員	1	ス	健保組合の事務所及びテナントとの賃貸契約、組合会や理事会の会場として利用	シ	-	加入事業所等の利用の促進をする 老朽化した会館設備の改修	継続	継続	継続	継続	継続	会議室・健康セミナー会場として利用回数５回	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	会館利用回数(【実績値】6回　【目標値】令和6年度：5回　令和7年度：5回　令和8年度：5回　令和9年度：5回　令和10年度：5回　令和11年度：5回)-													指標の設定が困難なため (アウトカムは設定されていません)						
予算措置なし	5	既存	共同保健事業	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	健保連、東振協と共同で実施	ウ,ク	-	0	-	-	-	-	-	地理学的要因に影響を受けない事業の実施 健保組合単独では行えない大規模な事業の実施	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
													健保連、東振協と共同で実施	継続	継続	継続	継続	継続		
	イベントの周知(【実績値】100%　【目標値】令和6年度：100%　令和7年度：100%　令和8年度：100%　令和9年度：100%　令和10年度：100%　令和11年度：100%)-													参加人数(【実績値】200人　【目標値】令和6年度：200人　令和7年度：200人　令和8年度：200人　令和9年度：200人　令和10年度：200人　令和11年度：200人)-						
	8	既存	家庭常備薬の斡旋	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	年2回（4月から6月・10月から12月）に委託契約により実施 申込みは郵送・FAX・WEBに対応	シ	-	0	-	-	-	-	-	OTCの促進 軽度疾患の初期治療と健康維持	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
													年2回（4月・10月）「ガラスけんぽニュース」に同封し、被保険者へ案内をする ホームページなどで広報をする	継続	継続	継続	継続	継続		
	申込人数(【実績値】469人　【目標値】令和6年度：480人　令和7年度：480人　令和8年度：480人　令和9年度：485人　令和10年度：485人　令和11年度：485人)-													斡旋事業であり、アウトカムが困難であるため (アウトカムは設定されていません)						

注１）１．職場環境の整備　２．加入者への意識づけ　３．健康診査　４．保健指導・受診勧奨　５．健康教育　６．健康相談　７．後発医薬品の使用促進　８．その他の事業
注２）１．健保組合　２．事業主が主体で保健事業の一部としても活用　３．健保組合と事業主との共同事業
注３）ア．加入者等へのインセンティブを付与　イ．受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況）　ウ．受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況）　エ．ＩＣＴの活用　オ．専門職による健診結果の説明　カ．他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施　キ．定量的な効果検証の実施
ク．対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など）　ケ．参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備）　コ．健診当日の面談実施・健診受診の動線活用　サ．就業時間内も実施可（事業主と合意）　シ．保険者以外が実施したがん検診のデータを活用　ス．その他
注４）ア．事業主との連携体制の構築　イ．産業医または産業保健師との連携体制の構築　ウ．外部委託先の専門職との連携体制の構築　エ．他の保険者との健診データの連携体制の構築　オ．自治体との連携体制の構築　カ．医療機関・健診機関との連携体制の構築　キ．保険者協議会との連携体制の構築　ク．その他の団体との連携体制の構築
ケ．保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む）　コ．運営マニュアルの整備（業務フローの整理）　サ．人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置）　シ．その他